

謳え、躍れ、
驚異のハイブリッドたちよ——



フランス国立ケ・ブランリ美術館所蔵

マスク展

Masks – Beauty of the Spirits
Masterpieces from the musée du quai Branly

会期: 2015年4月25日(土)~6月30日(火)

会場: 東京都庭園美術館(本館・新館)

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、朝日新聞社

共催: フランス国立ケ・ブランリ美術館

後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

協賛: 大日本印刷株式会社

協力: エールフランス航空

年間協賛: 戸田建設株式会社

開催概要



2006年にパリ、セーヌ河岸にオープンしたフランス国立ケ・ブランリ美術館。建築家ジャン・ヌーヴェルによる設計でも世界の注目を集め、パリの新たな名所として親しまれています。本展覧会は、アフリカ、アジア、オセアニア、アメリカから集められたマスク(仮面)をテーマに開催される、日本国内における同館初の大規模なコレクション展です。

仮面を身に着けることによって、人々は自然と向き合い、神や精霊といった目には見えない存在と通じ、物語を演じる表現者となりました。仮面は、肉体と意思をもつ人間と、それを取り巻く世界の境界に位置します。人は動物や精霊や神々、そして物語の登場人物を模(かたど)った仮面を纏い、時に音楽やリズムとともに踊り、舞い、それと一体化することによって、我と仮面(=他者)という両者の力を併せ持つ存在(‘ハイブリッド’)となって、未知なる時空の扉を開こうとしたのです。それぞれの土地の特質や文化を背景に、人々の様々な願いが反映された仮面たちは、溢れる想像力に満ちたユニークなカタチや素材、スケール感によって生み出されています。本展は、<今>に伝えられるマスクの生き生きとした魅力を展覧し、その表現の本質に迫ろうとするものです。
(出品点数:約100点)

*ハイブリッド=ラテン語の<hybrida>から派生した英語の<hybrid>は17世紀初頭に現れ、「異種のもの、2つの異なる要素を組み合わせたもの、掛け合わせたもの」の意味に用いられる。近年では機械やテクノロジー等の分野で頻繁に転用されているが、元来は魂を宿す生物を表わす言葉や概念であった。

展覧会タイトル: フランス国立ケ・ブランリ美術館所蔵 マスク展

Masks – Beauty of the Spirits

Masterpieces from the musée du quai Branly

会期: 2015年4月25日(土)～6月30日(火)

会場: 東京都庭園美術館(本館・新館)

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、朝日新聞社

共催: フランス国立ケ・ブランリ美術館

後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

協賛: 大日本印刷株式会社

協力: エールフランス航空

年間協賛: 戸田建設株式会社

〔開催場所〕 東京都庭園美術館

東京都港区白金台 5-21-9 Tel: 03-3443-0201

<http://www.teien-art-museum.ne.jp>

JR山手線「目黒駅」東口、東急目黒線「目黒駅」正面口より徒歩7分

都営三田線、東京メトロ南北線「白金台駅」1番出口より徒歩6分

〔開館時間〕 10:00-18:00 (入館は閉館の30分前まで)

〔休館日〕 第2・第4水曜日(祝日の場合はその翌日)

〔入館料〕 一般: 1200円(960円)

大学生〔専修・各種専門学校含む〕: 960円(760円)

中・高校生、65歳以上: 600円(480円)

※()内は20名以上の団体料金及び前売り[e+(イープラス)オンライン販売のみ]

※小学生以下は無料

※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その介護者1名は無料

※教育活動として教師の引率する都内の小・中・高校生及び教師は無料(事前申請が必要)

※第3水曜日(シルバーデー)は65歳以上の方は無料

※前売り券はe+(イープラス)にてオンライン販売いたします。 <http://eplus.jp>

〔割引情報〕 ドレスコード割引「マスク(Mask)」

本展のテーマに因み、マスク及び顔のモチーフや模様を身に着けてご来館のお客様は100円引きでご覧いただけます。

■ ケ・ブランリ美術館による日本初の展覧会

本展は、フランス国立ケ・ブランリ美術館による日本初の展覧会です。ケ・ブランリ美術館は、パリの人類博物館と国立アフリカ・オセアニア美術館の約30万点にのぼる膨大なコレクションを引き継ぎ、これをひとつに併せた美術館として、エッフェル塔を望むセーヌ河岸に2006年に誕生しました。フランス国内においてはルーヴル美術館、オルセー美術館、ポンピドゥー・センターに次ぐ年間入館者数を誇る美術館となり、またジャン・ヌーヴェル設計による建物は世界的な注目を集め、パリの新たな名所として親しまれています。ケ・ブランリ美術館は、豊かな緑に囲まれた東京都庭園美術館と同じく、景観デザイナー ジル・クレモン構想による広大な庭園を擁しています。この度、アール・デコ様式の邸宅を活かした当館の展示環境に注目したケ・ブランリ美術館からのオファーにより、本展実現の運びとなりました。

■ アール・デコが享受した異国の影響

20世紀初頭、フランスから世界に波及したアール・デコは、アフリカやアジアといった他の国々から多くのインスピレーションを享受し、彫刻、家具、テキスタイルや他の芸術形態にもそれらの影響が反映されています。特に今回の展覧会のアフリカ・セクションでは、ケ・ブランリ美術館のカタログやアート・レビューにも掲載されている貴重な作品が数多く出品されます。また、オセアニアやアメリカ大陸の仮面や神像も、1920年代から30年代を中心としてパリの芸術家たちに新鮮な驚きを与えました。本展では、展示会場である旧朝香宮邸（東京都庭園美術館・本館）が建設された時代において、フランスの表現者たちに影響を与えた異国の表現を垣間見ることができます。

■ 驚きに満ちた「仮面」の形態の不思議

人々の願いが託された仮面は、溢れるような想像力に裏打ちされた、驚きに満ちた表情やかたちをしています。本展は「仮面」というキーワードを通じて、世界各地の文化に触れる機会を与えてくれます。また、かつて邸宅であったアール・デコ建築という特殊な空間で鑑賞することによって、博物学的観点よりも美学的視座から、仮面ひとつひとつのかたちに肉薄し、限りない想像力によって生み出された、それらマスクの生き生きとした形態の美しさや力強さを、より身近に感じることができます。

■ 世界各国の「仮面」を映像で紹介

新館では、「仮面」をテーマとする関連映像を紹介します。上映を予定している「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ(Encyclopedia Cinematographica)」（公益財団法人下中記念財団所蔵）は、1952年、当時ドイツ、ゲッティンゲンの国立科学映画研究所(IWF)の所長だったG.ヴォルフ教授が創設した国際映画百科事典です。本展では、コレクションに収録されている「仮面」に関わる映像の中から、アフリカ、オセアニア、アメリカに加え、ヨーロッパにおける記録映像を上映いたします。さらに、大阪の国立民族学博物館制作によるアジアの映像をご覧ください。

広報用画像

広報用画像を用意しております。専用URLをご案内申し上げます。
必要な方は press@teien-art-museum.ne.jp までご連絡願います。

※ご使用時の注意点とお願い

- ・写真使用の際はキャプション・クレジットの掲載を必ずお願いいたします。
- ・トリミング、文字載せは不可。・二次使用は禁止願います。・使用の際は事実関係の確認の為、記事校正を必ずさせていただきます。
- ・掲載誌又は、掲載記事を担当者までお送り願います。



能面 翁 (日本)
© musée du quai Branly, photo Sandrine Expilly



仮面 (ジャワ、インドネシア)
© musée du quai Branly, photo Sandrine Expilly



ヤヌス仮面 イボまたはイガラ (ベヌエ、ナイジェリア)
© musée du quai Branly, photo Sandrine Expilly



オボド・エニイ仮面 イボ (ナイジェリア)
© musée du quai Branly, photo Sandrine Expilly



カヴァット仮面、バイニング (パプアニューギニア)
© musée du quai Branly, photo Sandrine Expilly



仮面、コディアック (アラスカ)
© musée du quai Branly, photo Sandrine Expilly



仮面、ツオツィル (チアパス、メキシコ)
© musée du quai Branly

お問い合わせ先:
東京都庭園美術館 広報担当: 板谷 (いたや)、若林 (わかばやし)
TEL 03-3443-0201 Mail press@teien-art-museum.ne.jp

広報事務局 TAIRA MASAKO PRESS OFFICE
平 (たいら) M 070-2151-4567
望月 (もちづき) M 090-2445-3808
Mail teien@tmprss.jp